

# 地域とともに 仲間とともに スポーツ少年団

9種目37団体で、845人が活動している三原市スポーツ少年団。



▲三原ジュニア・ソフトテニスクラブ



▲本郷中央(ソフトボール)



▲久井空手



▲大和ジュニアバレーボールクラブ



スポーツをする子どもたちがもっと増え、さまざまな種目の団体が登録され、子どもたちの選択肢が広がることを期待しています。

そして、地域を愛し、子どもたちが将来、地元に戻り、スポーツを通じて恩返しをしたいという気持ちを持つことにつながればと思っています。

## これからの スポーツ少年団

スポーツ少年団は、地域に根付いた活動となっています。保護者や地域の大人たちが、地域の子どもたちを見守り、指導することで、子どもたちと一緒に成長していくことにつながっています。子どもたちにとっても、指導してもらったことは、思い出として深く心に残ると思います。

地域がスポーツ少年団を支え、スポーツ少年団が地域の交流を生み出しているといえると思います。

## 地域の関わり

学校とは違い、学年や地域を越えた触れ合いを持つことができ、子どもから大人までさまざまな交流があります。また、指導者も指導方法や悩みなどを勉強できる環境でもあります。

## スポーツ少年団とは



三原市スポーツ少年団  
本部長 平畑隆浩さん

## インタビュー

今月号では、本市のスポーツ少年団の活動を特集します。

子どもたちがどのようなことを感じながらスポーツをしているのか、また、指導者や保護者はスポーツを通じてどのようなことを学んでほしいと考えているのか、それぞれの思いに迫ります。

●ソフトテニス●  
三原ジュニア  
ソフトテニス  
クラブ



遠矢希純さん

先生や保護者の  
みんなに感謝

現在、小学6年生の遠矢さん。「まだまだ下手なところがあるけれど、先生が教えてくれて、できるようになっていくのが楽しい」と声を弾ませます。男女総勢57人の団員とともに、積極的に声を出すことや、先生へあいさつをすることなどを心掛けています。

「先生や保護者のみんなが、僕たちのために協力してくれていることがありがたい」と感謝の気持ちを胸に、優勝をめざして練習に励んでいます。

子どもたちから  
もらうパワーが原動力

指導者 滑輝彦さん  
協調性を養うことと友達づくりを指導の柱としています。市内の小学校から仲間が集まってきているので、広く友達を作ることができ、そのことが子どもたちに楽しさを与えていると思います。



▲熱心に指導する滑さん

ます。年々新入団員が増えていくことも、それを証明していると感じています。  
指導する際には、それぞれのレベルに合った教え方をすることや、全員に声を掛けることに気を配っています。そして何より、子どもたちからもらえるパワーとエネルギーが原動力になっています。元気な限り、これからも指導を続けていきたいです。

将来の夢は、  
プロ野球選手

現在小学6年生で、キャプテンとして総勢15人のチームの主軸として活躍している横並さん。県大会や中国地区大会に出場することができ、試合に勝つ喜びをチームメートのみんなと分かち合いました。

「負けているときでも積極的に声を掛けて、引っ張っていく」と力強く語りまします。ポジションは、ショートやキャッチャーです。  
将来の夢は、プロ野球選手になることです。

どんな場面でも  
仲間を思いやる  
気持ちを育てたい

監督 三川善雄さん  
監督と選手以前に人間同士として向き合い、責任と決定を下す意思を持つよう指導しています。



▲選手にアドバイスを三川さん

●ソフトボール●  
本郷中央



横並俊宏さん

ソフトボールを通じて、日頃の「いい加減さ」や「甘さ」などを改め、自分に負けない気持ちや、強い意思を持つてもらいたいと思っています。  
全員が、土壇場でこそ強気になれたり、どんな場面でも仲間を思いやれたりしたら、毎年チームとしては完成だと考えています。  
勝負にこだわることも大事だとは思いますが、勝負ばかりに執着すれば、大切なことを見失い、焦りや無理が生じると感じています。指導者満足にならないよう常に心掛けています。

黒帯をめざって

小学1年生から空手を始めて、現在6年生の堀さん。昇級試験に合格し、茶色の帯を締めて、練習に励んでいます。

「空手をするようになって、大きな声であいさつができるようになりました」と笑顔で話してくれます。

毎年出場している県大会では、勝つことの喜びとともに、まだまだ足りない部分があることを感じました。

黒帯を締めることを目標に、中学生になっても好きな空手を続けていきます。



▲きびきびとした動作で館内が引き締まります

精神面の成長大きい

保護者 堀陽子さん  
空手は、精神力を鍛えてくれるスポーツだと思っています。投げ出さず、これまで空手を続けてこれたところに、精神面の成長を感じています。



あいさつやいろいろな場面で、大きな声を出すことができるようになり、自分に自信が付いてきているのかなと感じます。  
これからの、好きな空手を続けていってほしいです。

●バレーボール●  
大和ジュニア  
バレーボール  
クラブ



福場里奈さん

感謝を胸に日々練習

小学4年生からバレーを始め、現在6年生の福場さん。13人が所属するチームで、キャプテンをしています。「試合で勝ったときは、とてもうれしい」と顔をほころばせます。違う小学校の児童と友達になることができたことも、楽しく活動できていることにつながっているようです。

さらに、仕事などで忙しい中、指導してくれている地域の皆さんへの感謝の気持ちも忘れてはいません。

ポジションはセッター。アタックを打ちやすいトスを確実に上げることができるよう、日々練習を続けています。

子どもたちの成長を  
見るのが楽しみ

監督 松田勝実さん  
子どもたちにバレーを好きになってもらいたいという思いで、指導をして



▲選手たちに指示を送る松田さん

います。勝ち負けだけにこだわるのではなく、生涯できるスポーツとしてバレーをしてほしいと思っています。  
練習を通じて、これまでできなかったことができるようになったときなど、子どもたちの成長を見るのが楽しみです。これからも、地域の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、バレーを続けてほしいです。

●空手●  
久井空手



堀 瑞穂さん

## 応援メッセージ

卒団員編

県ベスト8入りを果たし、中国地区大会へ出場した当時のペア



三原ジュニア・ソフトテニスクラブ卒団員  
浜田美咲さん(第二中学校3年) (左)  
山田眞子さん(第五中学校3年)

浜田さん…たくさん試合ができて、経験が豊富になりました。

山田さん…強い選手と試合ができて、中学校に入っても役に立ちました。二人から…声を出して、先生に感謝の気持ちを持って、これからも頑張ってください。

## 現在も活躍を続ける バレーボール選手

全日本バレーボール大学女子選手権大会で優勝(リベロとして個人賞も受賞)



田井琴美さん  
バレーを通じて、人とのつながりや友達が増えました。技術面だけではなく、人間的にも成長

できたと思います。

## スポーツ少年団に入りませんか?

### 団員の募集

スポーツ振興課では、各団体の案内や紹介をしています。スポーツ少年団に入って、一緒にスポーツを楽しみませんか。

対象 小学生～高校生

※各団によって対象が異なります。

問い合わせ先 スポーツ振興課(☎0848⑥7219)

#### 軟式野球(14団体)

三原西レッズ少年野球クラブ
三原沼田東ヤンキース
幸崎パイレーツ
三原ジュニア少年野球
三原ベアーズ
三原ファイヤーズ
筆影エンジェルス
中之町イーグルス
三原レッドアロー少年野球クラブ
三原パワーズ少年野球クラブ
大和ジュニア
神田ジュニア
本郷南方ライナース
BBC MIHARA

#### 空手道(4団体)

陽明会空手道
龍空
久井空手
本郷空手道同好会

#### ソフトボール(4団体)

三原小東部連合
本郷中央
中之町ビクトリーズ
小泉子ども会

#### 剣道(3団体)

三原市剣道
大和剣道
本郷清和会

#### ソフトテニス(2団体)

三原ソフトテニス
三原ジュニア・ソフトテニスクラブ

#### サッカー(1団体)

三原少年サッカークラブ
-------------

#### 競泳(1団体)

ドルフィン
-------

#### 陸上競技(1団体)

三原陸上
------

#### バレーボール(7団体)

ミリアッズ
大草
船木バレーボールクラブ
大和ジュニアバレーボールクラブ
神田ジュニアバレーボール
本郷小バレーボールクラブ
三原ブルーローズ

## 勝ち負けだけじゃない大切なこと

子どもの運動能力が低下している。最近の子どもは、「走る・投げる・跳ぶ」といった動作がうまくできなくなっているとの指摘があります。

事実、県の調査によると、昭和60年度と平成22年度の小学5年生を比べると、握力や50m走、ソフトボール投げのいずれの能力も低下しているという結果が出ています。

かつては、外遊びや集団遊びなどをよくしていたので、運動能力が自然に身に付いていたとの要因分析もあります。

体を動かすことの代名詞であるスポーツは、継続して行うことで、肉體面だけでなく精神面への効用も期待できます。運動能力の向上や勝ち負けだけではなく、それまでの過程や礼儀、仲間づくりなど、多くの大切なことも教えてくれます。

子どもたちの成長とともに、スポーツ少年団がますます発展していくことを祈っています。

特集 地域とともに 仲間とともに  
スポーツ少年団 終わりー